

寄付で育む子どもたちの福祉の心

高齢者疑似体験セット購入にご協力を!

市社協には市民の皆様から寄せられた多くの寄付が、市民の方々の福祉活動に役立っています。今回、小・中学校と連携して行っている「高齢者疑似体験講座」で活用する「高齢者疑似体験セット(特殊な眼鏡や手足の重りなどの装具)」の購入(10セット・1セット7万円)にあたり、市民の皆様からのご寄付を募ります。

現在、市社協では20セット所有していますが、大変好評でさらに多くの学校や地区社協の福祉まつりなどで活用していただくために、セット数を増やしたいと考えています。

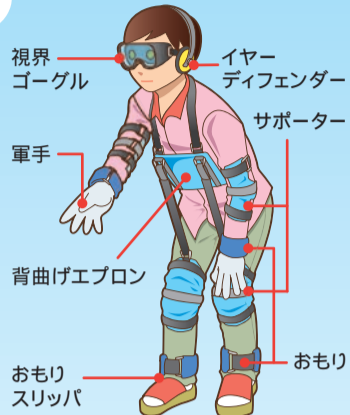
未来を担う小中学生への福祉の種まきにぜひご協力をお願いします。たくさんの方々の福祉の花を咲かせましょう。

寄付の活用例～みんなのいいひと体験講座～

「高齢者疑似体験講座」は、子どもたちに福祉に興味や関心を持ってもらうために行っている「みんなのいいひと体験講座」のメニューのひとつです。

高齢になると誰もが歩きにくくなったり、見えづらくなったりします。そうした身体の変化を『体験セット』を装着して、その感覚を体験します。

体験した子どもたちは、「階段には手すりが必要」、「駅や建物の案内は大きな文字の方がいいね」など、バリアフリーの必要性に気づいたり、「街で困っているお年寄りに出会ったら手を貸してあげたい」と高齢者との接し方を学んでいます。



新町中学校にて開催

寄付金募集!



寄付金の使いみち
高齢者疑似体験セット購入資金
募集期間

平成27年9月30日まで

募集方法

桐直接現金をお持ちいただく場合

・市社協各事務所窓口で受け付けます。

桐金融機関にてお振込みをいただく場合

・次の口座にお振込ください。

口座番号

横浜銀行 相模原駅前支店(普)6125454

口座名義

さがみはらししゃきょうきふくち

相模原市社協寄付口

口座開設期間 9/30まで

領収書をご希望の場合は、総務課までご連絡いただくか、お名前(領収書の名義)、ご住所(領収書の送付先)、お電話番号、ご寄付いただいた日付、金額をFAXまたはメールにてお送りください。税額控除などの詳細については、お問合せいただくか、ホームページをご覧ください。

☎ 総務課 ☎ 042-730-3888 FAX 042-759-4382

✉ info@sagamiharashishakyo.or.jp

募集結果については今後広報紙やホームページなどで報告していきます。

公園の桜を見て春を感じました ～車いす無料貸出事業～



「旅行に出かけるときに車いすがあると便利で助かります」

通院または旅行等で車いすを一時的に必要とするとき、2週間以内で無料貸出しています。「旅行に出かけるとき車いすを借りました。公園を散歩しながら桜を見て春を感じました」と利用者の声...。車いすのほか、歩行器、一本腰、四点腰、松葉腰などを無料貸出しています。貸出期間についてはお問い合わせください。

☎ 福祉機器展示室(ウェルネスさがみはら2階)

☎ 042-769-8274

ファミリーサポートセンター援助会員募集!

保育園・幼稚園・児童クラブ等の開始前後の預かりや送迎、保護者の病気・リフレッシュ時の預かりなど、子育てを助け合う会員制の組織です。

援助会員(子育てのお手伝いをしたい人)講習会を開催します。

援助会員講習会

	日にち・時間	内容	会場
1日目	7月9日 午前10時～午後3時30分	子どもの栄養と食事・子どもの世話・おきやすい事故とその対応・子どもの身体の発育と病気	相模原市民会館 2階第2中会議室
2日目	7月10日 午前9時30分～午後4時	子どもの遊び・子どもの心の発達とその問題・保育の心・障害児の特徴と接し方・登録手続き	

講習会受講前に入会説明を受けていただきます。

入会説明会(午前10時～11時) いずれか1日。下記以外の日は要相談。

6月25日 緑区合同庁舎、26日 大野南公民館、27日 あじさい会館

・保育士、幼稚園教諭、小学校教諭などの有資格者は随時登録ができ、講習会の一部免除があります。

・講習会・説明会の保育を実施します(要予約)

☎ 相模原市ファミリーサポートセンター ☎ 042-730-3885



通学支援の様子

シリーズ 楽しく「『ふくし』でまちづくり」 福祉コミュニティ形成事業 No.16



地域参加のきっかけと支えあいの仕組みづくり

大野中地区では「地域福祉活動の担い手の育成「ボランティアの拠点づくり」をテーマに掲げて事業を進めています。

昨年12月19日には「第一回大野中地区ボランティア講座」

を開催しました。ボランティア活動の基礎知識や事例紹介に始まり、地元ボランティアグループの代表者からのお話とアドバイス、車いす講習にマジックショーと、盛りだくさんの内容でした。講座をきっかけに、早速ボランティアグループに加入したり、地区社協事業への協力を通して「地域デビュー」した方もいます。ボランティア講座は今年度も開催しますのでぜひご参加ください。

このように福祉活動の担い手が増えることは、地域の困りごとを地域で解決する仕組みづくりへとつながっていきます。大野中地区での最終目標は、住民同士で生活の困りごとを解決するための、そして身近な福祉の相談窓口のための拠点として「大野中地区ボランティアセンター(仮称)」を設置し、その取組を継続させていくことです。共に活動して下さる方も大募集しています。あなたもぜひ一緒に地域を盛り上げていきませんか。

☎ 大野中地区社会福祉協議会 ☎ 042-741-6695



福祉コミュニティ形成事業とは...

地域の福祉活動の推進役として地区社協が中心となり、地域の皆さんで「困りごと」の解決策を考え、支えあいの福祉のまちづくりを目指すものです。この事業は、市社協と地区社協が協働ですすめています。

☎ 地域福祉係 ☎ 042-704-6275

詳しくは、お気軽にお問い合わせ下さい。

医療保険適用

ただし申請には医師の同意が必要となります。

ご自宅で受けられる マッサージです。

中央在宅マッサージ 株式会社あて

お申し込み
ご相談は、☎ 046-298-1114
●ホームページをご覧ください FAX 046-298-1128

http://www.te-ate.com



小山 恵美子さん (南区下溝)

都内の外資系民間企業に勤務する小山恵美子さんは視覚障がいがあり、アイメイト(盲導犬)と共に生活しています。そして経験等を小中学校の授業でお話いただいています。また、民族音楽「フォルクローレ」のバンド「ルミ・マユ・オルコ」のメンバーとしても活躍。そんな小山さんに講師として、そして演奏者として「伝えたいこと」についてお話を伺いました。

今月のいいひと 6月



佐藤 あけみさん (中央区小町通)

あじさい会館1階の「ハンドメイドショップバオバブ」スタッフとして約15年間、障がいのある販売員の就労体験をサポート。「ボランティア横山」での活動やコーラス活動も掛け持ちされる忙しさですが、「地域での活動は私の生きる原動力。毎日が楽しく、障がい者への理解をもっと広めることがライフワークです」と気負いなく、自然体の佐藤さんです。

インタビュー全文はホームページで 相模原市社協 検索 クリック 7月版は7月1日に掲載されます。

